

日本国佐久市・エストニア共和国サク市 交流の歩み

年	月日	できごと
平成 10 年 (1998)	9 月	駐日エストニア共和国大使館ルッツー等書記官が、上信越自動車道を走行中に佐久 IC の標識を発見したことから、エストニア共和国内の「サク市」と同じ地名として「佐久市」が知られ交流のきっかけとなる。
平成 11 年 (1999)	2 月	エストニア共和国独立記念日のレセプションに、佐久市三浦市長と佐久市教育委員会鷹野教育委員長が招待される。
	4 月	駐日エストニア共和国大使館マーク・スィニソー特命全権大使が佐久市を訪問。
平成 13 年 (2001)	10 月	旧佐久市政 40 周年記念式典に、駐日エストニア共和国大使館ピーター・ミラー臨時代理大使を招待。
平成 15 年 (2003)	5 月	佐久バルーンフェスティバルに、駐日エストニア共和国大使館アルゴ・カングロ臨時代理大使を招待。
平成 16 年 (2004)	7 月	佐久市民グループが、佐久市三浦市長のメッセージを携え、エストニア共和国サク市を訪問。(市民グループの訪問を契機として、のちに「佐久市エストニア会」が発足)
	11 月	エストニア共和国アーノルド・リュテール大統領夫妻が来日。 佐久市三浦市長が駐日エストニア共和国大使館より招待される。
平成 17 年 (2005)	2 月	スペシャル・オリンピックス長野大会へ参加のエストニア選手 14 名が佐久市にホームステイ。
	6 月	佐久市民グループが、佐久市三浦市長のメッセージを携え、エストニア共和国サク市を訪問。(二次訪問団)
	7 月	エストニア共和国より、Timo さんが佐久市にホームステイ。(約 1 ヶ月間)
	7 月	長野県野沢北高等学校生徒の桜井優花さんが、佐久ライオンズクラブの派遣で、エストニア共和国へホームステイ。
	8 月	新・佐久市 10 万都市誕生記念式典に、エストニア共和国サク市からスエン・ケセレル市長、マレク・リンヌタヤク議長をはじめ 7 名と、駐日エストニア大使館アルゴ・カングロ臨時代理大使を招待。
平成 18 年 (2006)	5 月	佐久バルーンフェスティバルに、駐日エストニア共和国大使館アルゴ・カングロ臨時代理大使が出席。
	7 月	佐久市三浦市長、佐久市議会菊原議長がエストニア共和国サク市に公式訪問。
	7 月	エストニア民族舞踊団ソプラスが、佐久市コスモホールで公演。 (来場者約 550 名)
	10 月	佐久市三浦市長が、駐日エストニア共和国大使館ピーター・ミラー新特命全権大使に拝謁。

平成 19 年
(2007)

5 月 1 日

佐久市にて友好都市協定を調印（締結）



6 月 29 日
～7 月 6 日

佐久市三浦市長、佐久市議会菊原議長が、エストニア共和国サク市を
公式訪問。

平成 23 年
(2011)

5 月 3 日
～5 月 5 日

「佐久バルーンフェスティバル 2011」に、エストニア共和国サク市
クノ・ローパ市長はじめ公式訪問団が訪問。

平成 24 年
(2012)

5 月 2 日
～5 月 3 日

「佐久バルーンフェスティバル 2012」に、駐日エストニア共和国大使館
トイヴォ・タサ特命全権大使が出席。

5 月 9 日
～5 月 16 日

友好都市提携 5 周年を記念し、佐久市小池副市長、佐久市議会中澤議長
ほか市民 10 名の公式訪問団がサク市を訪問。

8 月 4 日
～8 月 26 日

市内飲食店にて「SAKU エストニアフェスティバル 2012」を開催。
エストニア共和国の料理の提供やサクビールなどの販売、写真パネルの
展示を行った。



平成 25 年
(2013)

10 月 18 日

甲斐哲朗在エストニア日本国大使館特命全権大使が佐久市を訪問。



平成 26 年
(2014)

2 月 8 日

エストニア共和国出身力士の元大関・把瑠都氏の断髪式に、
日本・エストニア親善協会花岡茂会長と観光交流推進課長が参加。

10月6日

国際青年育成交流事業（外国青年招へい）の一環として、エストニア共和国の青年10名が佐久市を訪問。



11月8日

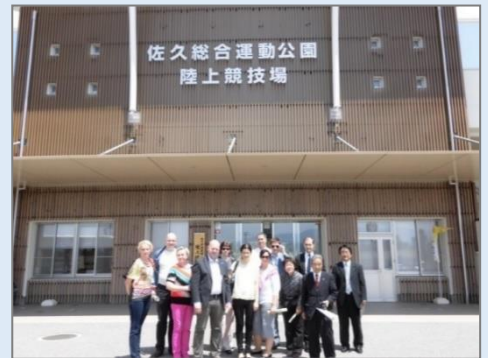
佐久市コスモホールにおいて、エストニア共和国サク市を舞台とした「こころのミュージカル『コイトラ〜夜明け前』」が上演され、ヤーク・レンスメント駐日エストニア共和国大使館特命全権大使ほか約1,400名が鑑賞。



平成27年
(2015)

5月2日
～5月5日

「佐久バルーンフェスティバル2015」に、エストニア共和国サク市ティート・ヴァヘノム市長、サク市議会タネル・オッツ議長はじめ公式訪問団が訪問。開会式への出席や子ども交流実現に向けた協議、市内視察等を行った。



10月21日
～10月23日

エストニア共和国サク市長はじめ学校関係者の訪問団が佐久市へ来市。両市の子ども交流実現に向けた協議を行った。



平成 28 年
(2016)

1 月 13 日
～1 月 19 日

柳田市長、佐久市議会小林議長はじめ 5 名が、エストニア共和国サク市を公式訪問。サク市創立 150 周年記念式典、子ども交流覚書調印、大使館表敬訪問、事前合宿地誘致活動を行った。



5 月 3 日
～5 月 5 日

「佐久バルーンフェスティバル 2016」に、前在エストニア日本国大使館甲斐哲朗特命全権大使を招待。
市内視察、歓迎夕食会などで交流を深めた。

10 月 24 日
～10 月 31 日

「エストニア共和国サク市子ども交流研修」として、エストニア共和国サク市の子どもたちが初めて佐久市を訪問し、ホームステイや中学校体験入学などの体験を通して、友好交流を深めた。



11 月 16 日

ホストタウン交流事業の一環として、把瑠都氏(元大相撲大関)を「佐久市親善交流大使」に、甲斐哲朗氏(前在エストニア共和国日本国大使館特命全権大使)を「エストニアとの交流に係るアドバイザー」に任命。



平成 29 年
(2017 年)

2 月 3 日

在エストニア共和国日本国大使館柳沢陽子特命全権大使が佐久市を訪問。市長表敬訪問や市内視察等を行った。



2 月 14 日

駐日エストニア共和国大使館の主催による「独立記念日パーティー」に、柳田市長が招待された。

4 月 22 日

エストニア共和国タルモ・タム農業大臣、駐日エストニア共和国大使館ヤーク・レンスメント特命全権大使が来市。龍岡城五稜郭や佐久鯉養殖場などを視察した。



5 月 3 日

～5 月 5 日

「佐久バルーンフェスティバル 2017」に、友好都市提携 10 周年記念として、エストニア共和国サク市ティート・ヴァヘノウム市長はじめ公式訪問団、駐日エストニア大使館アルゴ・カングロ参事官、「エストニアとの交流に係るアドバイザー」の甲斐哲朗氏が出席。



5月3日
～5月5日

佐久市親善交流大使の把瑠都氏が、「佐久バルーンフェスティバル2017」ならびに「第30回佐久鯉マラソン」に参加。



7月29日
～8月5日

「佐久市中学生海外研修」として、佐久市の中学生が初めてエストニア共和国サク市を訪問し、一般家庭へのホームステイや子ども交流を通じて交流を深めた。



7月31日

エストニア共和国オリンピック組織委員会マルティ・ラウ副事務総長が来市。駐日エストニア大使館アルゴ・カングロ参事官とともに、佐久市総合運動公園陸上競技場や宿泊施設等を視察。



10月23日
～10月31日

「エストニア共和国サク市子ども交流」として、エストニア共和国サク市の子どもたちが来市。市内の中学生との子ども交流や一般家庭でのホームステイを通じて交流を深めた。



10月25日

エストニア共和国のアコーディオン奏者 トゥーリキ・バートシク氏によるミニコンサートを、市役所市民ホールにおいて開催。約200名が鑑賞した。



10月27日

「ホストタウン交流事業」の一環として、市内で在日エストニア人によるエストニア料理教室を開催。エストニアの日本語弁論大会で優勝したエストニア人との交流も行った。

平成30年
(2018)

2月24日
～3月2日

「ホストタウン交流事業『エストニアウィーク』」を開催。市内スーパーマーケットにおいて、エストニアの食品の紹介や販売を行った。また、同時開催の「エストニア祭」では、トークショーやエストニア政府観光局日本事務所による観光プレゼンなどを行った。



2月26日

総理大臣公邸にて、柳田市長および佐久市・姉妹都市友好都市親善協会依田方伯会長はじめ4名が、エストニア共和国サク市長とサク市議会議長の連名による書簡を安倍昭恵内閣総理大臣夫人から受け取る。



5月3日
～5月5日

「佐久バルーンフェスティバル2018」に、駐日エストニア共和国大使館ヤーク・レンスメント特命全権大使、アルゴ・カングロ参事官、把瑠都佐久市親善交流大使が出席。

5月17日
～5月24日

友好都市提携10周年を記念して、柳田市長、高橋議長らがエストニア共和国サク市を公式訪問。顔の見える交流を通して更なる友好を深め、また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿地誘致活動も行った。



7月30日
～8月6日

「佐久市中学生海外研修」として、佐久市の中学生がエストニア共和国サク市を訪問し、一般家庭へのホームステイや子ども交流を通じて交流を深めた。



8月19日
～8月22日

「エストニアラジオ放送少女合唱団」が来市。市内中学校合唱部との交流や、小学校での給食体験・ミニコンサート・交流などを行った。また、シチズン工場などの市内見学も実施。



9月15日

「ワールドクリーンアップデー」として、日本・エストニア親善協会を中心に、佐久市の玄関口である佐久平駅周辺の清掃活動を行った。

11月10日～11月13日 2020年東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致活動の一環で、エストニア共和国陸上競技協会のシリエ・リッペ事務局長とスポーツディレクターのクリスタル・ベレンセン氏が来市。佐久総合公園陸上競技場等のスポーツ関連施設の視察を行った。また、市内小学校を訪問し、授業見学と子どもたちとの交流を行った。



平成31年
(2019)

3月9日～4月14日 佐久市立近代美術館において、特別企画展「北欧の小さな宝石箱・エストニア ―エストニアの古伝を紡ぐ カルヨ・ボルの作品を中心に―」を開催。

令和元年
(2019)

5月1日 日本国佐久市・エストニア共和国サク市
姉妹都市協定調印（日本国佐久市において）

※役職名等は、当時の名称に統一した。